

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042-769-8263
担当部課名	土木部	道路整備	課	用地
事務事業名	淵野辺駅北口駅前広場用地購入事業		事業コード	32120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。第2章	事業開始年度
基本施策名	第1節	骨格幹線道路網の整備 第1節	13年度
施策名	第2施策	市内幹線道路の整備 第2施策	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
淵野辺駅北口駅前広場の用地取得については、当該地区周辺に桜美林大学の教育施設や青山学院大学の進出が決定し、利用者の増加に対応するため、交通の結節点として、ペストリアンデッキ、バス・タクシー乗り場等の整備など、ターミナル機能の強化を図り、利用者の利便性の向上と安全性の確保のため、用地取得したものである。		通勤 通学者	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
用地取得面積 293.05㎡		市内の交通の結節点となる駅前広場の計画的な整備を進める。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 淵野辺駅北口駅前広場用地購入事業	
		計画年次 13年度～年度	
		用地取得面積 293.05㎡	

4 評価指標

指標名	取得率	0
指標式	取得予定面積 / 取得面積 × 100	
指標設定の意図	道路用地取得状況把握	

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 100	b 100	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		108,282	108,282	
	人員・時間数		1名	1名	
	人件費		8,420	8,420	
	その他経費				
	合計	0	0	116,702	116,702
特定財源					0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 淵野辺駅北口駅前広場の整備に必要な用地については、平成13年度ですべて取得したことによる。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 淵野辺駅北口を利用する通勤通学者は増加する状況にあり、時代の変化に対応する必然性があること。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 土地の購入については、用地取得価格等評価委員会の評価により購入したものである。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 通勤や通学など、電車やバスなどの交通手段を市民が利用しているなか、市の事業の遂行に当たる必要がある。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 駅前広場の整備は、平成14年度で完了の予定であり、市民の満足が得られると考えている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 当該事業は、将来的に交通手段や交通網の整備を図る上で重要である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 用地取得に係る成果向上の余地はない。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 用地費、補償費とも制度上決定しておりコスト改善の余地はない。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県下の自治体も、不動産評価を基準とした用地価格価格、県用地対策連絡協議会を中心とした補償価格により、用地取得事業をすすめており、るいいしている。
	今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	説明	淵野辺駅北口駅前広場整備事業にかかる必要な用地についてすべて取得したことによる。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--